

## 南無ちゃんのブログ 2015年5月

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 6月1日(月) 日野川解禁日.....               | 2  |
| 6月2日(火) 防除作業・油断大敵.....            | 2  |
| 6月3日(水) プレミアム付商品券の会計処理.....       | 3  |
| 6月4日(木) 梅雨入り宣言したけれど.....          | 4  |
| 6月5日(金) ピオーネのホルモン処理.....          | 4  |
| 6月6日(土) コンテナハウスにステーを設置.....       | 5  |
| 6月7日(日) 共同作業(草刈).....             | 5  |
| 6月9日(火) ダイワマスターズ高津川大会.....        | 6  |
| 6月10日(水) 折れた穂先をどうするか.....         | 7  |
| 6月11日(木) 雨の日に洗車.....              | 7  |
| 6月12日(金) シャインマスカットのホルモン処理1回目..... | 8  |
| 6月13日(土) ブイブイ退治.....              | 9  |
| 6月14日(日) 勝山(旭川中央)解禁日.....         | 9  |
| 6月15日(月) 6月2回目の防除.....            | 10 |
| 6月16日(火) 雷シーズンを前にして.....          | 11 |
| 6月17日(水) アンテナ降ろし第2弾.....          | 12 |
| 6月18日(木) 近所のとあるご老人の葬儀.....        | 12 |
| 6月19日(金) ホテルグランビアでランチバイキング.....   | 12 |
| 6月20日(土) しろみて.....                | 13 |
| 6月21日(日) 電気柵設置完了.....             | 14 |
| 6月22日(月) アンテナタワー引取り.....          | 14 |
| 6月23日(火) 草刈に明け暮れる日々.....          | 15 |
| 6月24日(水) 勝山で鮎釣り.....              | 15 |
| 6月25日(木) ゴーグルの曇り止め.....           | 16 |
| 6月26日(金) 雨の日の露天風呂も乙なもの.....       | 17 |
| 6月27日(土) スーパーカブのキャブレータ分解掃除.....   | 17 |
| 6月28日(日) ブドウの粒間引きをして思うこと.....     | 18 |
| 6月29日(月) 初めて久世で鮎釣りしました.....       | 18 |
| 6月30日(火) コンテナハウスの改良.....          | 19 |

## 6月1日(月) 日野川解禁日

鳥取県の日野川の解禁日に出撃してきました。早起きして、オトリ屋さんに5時に到着。6時過ぎには、生山専用区の中程、岡田建設の上流に入ったのですが、2時間半程辛抱しましたが、ピリともせず丸坊主。仕方がないので、生山専用区の最上流部に移動しました。

ここでは早速アタリがあり、やっと野鮎をゲット。決してバンバン釣れたわけではありませんが、なんとかオトリをつなぐことができて、4時過ぎまで遊びました。30尾も釣ればあっさり帰ったのかもしれないですが、思う程釣れないので粘ってしまい、一日中遊べました。

最長寸は19.3cmで、この時期にしては大きめでした。10cm程度の小ぶりも混じって全部で16尾の釣果でした。



## 6月2日(火) 防除作業・油断大敵

ブドウの開花前にベト病・灰色かび病およびコナカイガラムシ類・チャノキイロアザミウマ対策として防除作業を行いました。結果的には防除作業は午前中に終わることができましたが、思わぬトラブルが続発しました。

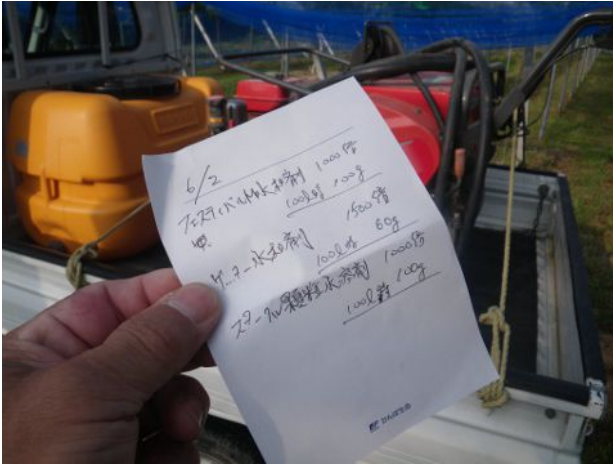
まず薬液を100L作って、動力噴霧器のエンジンを始動し、ホースに残った水を5Lほど排出したところで、急にエンジンが停止してしまいました。何度かエンジンがかかるものの直ぐに停止してしまったので、薬液タンクと動力噴霧器を積んたまま軽トラで家に戻りました。調べてみると、燃料コックの沈殿槽に錆状のものが溜まっていた。とりあえず沈殿槽だけを掃除して、コックをOpenのポジションにしたところ、沈殿槽に空気が残っていました。燃料タンクから燃料コックに至るまでの配管が詰まって、燃料が途切れてしまいエンストになったようです。燃料の供給が停止(油断)するとエンジンは止まります。

更に調べると、燃料タンクの中には大きな鉄片の錆がジャリジャリ言うほどありました。ゴム配管も確かに錆で詰まっていたようです。

燃料タンク、燃料ホース、燃料コック、キャブレターのカップを掃除してスターターロープを引くとすんなりとエンジンがかかりました。その後も、今日のところはエンジンは快調に回りました。

エンジンやポンプにゴミが詰まってしまい、中古の動力噴霧器は世話が大変です。自分で分解して掃除していると、段々と愛着が湧いてきました。エンジンやポンプの構造については初心者レベルです。今頃になって中学校の時の技術家庭科の授業が役に立っています。ありがたいことで

す。



## 6月3日(水) プレミアム付商品券の会計処理

昨日、吉備中央町プレミアム付商品券を購入しました。その日の内に、軽トラックのガソリンを入れる際に早速商品券を使って支払いをしました。

私は、自作ソフトで家計簿を付けていますが、プレミアム商品券をどのように扱えば良いのかちょっと考え込んでしまいました。そして出した結論は次のようなものです。

- 1)商品券は勘定科目上現金として取り扱う。
- 2)商品券を購入した時にプレミアム分を(家計簿上の)雑収入として計上する。
- 3)現金残高は商品券の残高と現金の残高を合計したものとする。

例えば、1,380円分の買い物をして、1,000円を商品券で支払い残りを現金で支払った場合でも、家計簿上は現金で1,380円を支払ったと記帳します。



朝の内は弱い雨が降ったり止んだりでぐずついた天気でしたので、室内でパソコンをいじってホームページを更新したり、狩猟免許更新申請書を作成したり、ブドウの出荷用資材の注文書を書いたりして過ごしました。

午後から、4時頃まで車庫で「おじろ用心棒」の部品作りをしました。車庫の天井に燕が巣を架けて抱卵しています。可愛い雛が孵ると良いですね。

4時頃から6時頃までブドウ園に行って誘引・摘心作業をしました。明日も引続き作業するという事にして、早めに切り上げました。



## 6月4日(木) 梅雨入り宣言したけれど

中国地方は昨日梅雨入りしたとのことですが、今日は真っ青な空が広がる快晴の一日でした。お陰で、農作業が捗りました。午前は主にブドウの枝や副梢を摘心し、午後は誘引しました。もうへトへトです。明日から梅雨らしく雨でも降れば骨休めできるかも・・・



## 6月5日(金) ピオーネのホルモン処理

ピオーネの開花が始まったようなので、ホルモン処理を開始しました。ジベレリン 25ppm とフルメット 10ppm の水溶液にブドウの開花した房を浸漬処理するのです。着果を促進し、種無し化し、果実を肥大させることが目的です。

開花時期が揃えば良いのですが、樹や枝によって開花時期はバラバラなので、100%開花した房から順に浸漬処理をしなければなりません。今朝のペースだとブドウ菌を一巡するのに約3時間を要するので、2日に1度程度のペースで実施して行きたいと思います。今度は日曜日、その次は水曜日かな？何故かという、火曜日はダイワの鮎釣選手権があるからです。



午後からは「おじろ用心棒」の部品としてのパイプの加工(穴あけ)作業をしました。以前から木製のジグを作っていたのですが、このジグをボール版にバイス(シャコマン)で固定したところ、凄く作業効率が高まりました。1本に3箇所穴を開けるのですが、1時間強で約80本を加工することができました。

## 6月6日(土) コンテナハウスにステーを設置

朝2時間程シャインマスカットの花穂整形作業をすると、取り合えずブドウの作業は一服した状態になったので、趣味の土木作業をしました。

新アンテナファームのコンテナハウスにステーを張る作業をしました。設置場所が山のでっぺんなので、平素こそあまり風は強くないのですが、台風の時などには風当たりが強いため、風でひっくり返ってしまっては大変です。業者の方からもステーを張ることを推奨されました。

ステーの張るには、アンカーが必要です。近くに石段に使われていたような石があったので、地主の許可を得てアンカーとして使わせてもらうことにしました。ミニコンボでチェーンを使って吊って、コンテナハウスの四隅に運びました。

ステーの支線は、アンテナエレベータのワイヤーロープの交換用として購入したステンレスワイヤの残りがあるので、上半分にはそれを使いました。下半分には、ブドウ園の棚を作った時の高張力線の残りがあつたので、それを使いました。間にターンバックルを入れて張りました。ターンバックルも手持ちのジャンク品で、この作業のために支出した材料費はゼロでした。



## 6月7日(日) 共同作業(草刈)



午前中、町内会の共同作業ということで、草刈をしました。雲が優勢な空模様で、それ程暑くもなく農作業日和でした。日頃、一日の作業は刈り払い機のタンクの燃料がなくなるまでと決めている



のですが、今日は燃料を追加して3時間程も作業したので疲れしました。

午後からブドウ園でピオーネのホルモン処理をして、その後から猿対策用電柵(おじろ用心棒)の部品作りをしました。今日の製作で部品は作り終えたので、後は施工するのみです。なんとかブドウが実を着けるまでには、完成できそうです。

## 6月9日(火) ダイワマスターズ高津川大会

昨日から高津川に行ってきました。今日はダイワマスターズの中国地区大会が高津川で開催されました。朝5時半から受付開始されるため、下見を兼ねて昨日から現地に乗込みました。今年も水害復旧の影響があり、高津川では天然遡上の鮎の数が少ないらしく、魚影が昨年よりも更に薄いとの情報通り、下見では一日やって2尾の釣果でした。

大会には約110名の参加があり、私は昨年と同じBブロックでしたので、昨年と同じポイントにダッシュして辿りつきました。去年は一番に到着したのですが、今年は3番目だったので、瀬肩よりも少し上流で竿を出しました。

開始早々に橋脚に竿を当ててしまったのが原因で、オトリを送り出して早々に穂先が折れてしまいました。ありやりや!!!不幸中の幸いで、糸が穂先に絡まっていたので、仕掛けやオトリは流されずに済み、折れた穂先も回収できました。仕掛け糸の先端を折れた穂先に結んで、何回かハーフヒッチすることでなんとか試合続行しました。

試合開始から1時間程経過してやっと瀬肩の人が1尾掛けましたが、私や他の周囲の人には当たりがありませんでした。さしたる魚信もないままに空しく時間が流れて、瀬肩の下流に入っていた人が場所を変えたので、場所を移動して瀬の中に錘を着けて送り込みましたが、反応はなくいい加減でやめとけば良かったのですが、オトリは弱るし錘が込みこんだのか根掛りしたのか、あまり強く引っ張ったつもりは無いのですが、使い込んだラインが切れてしまい、マイナス1になってしまいました。残り時間は30分ありましたが、これ以上やっても仕方がないと心の糸もプツツリと切れてしまいました。早々に竿を畳んで計量所に帰りました。

竿が折れたり、ラインが切れたりしてトラブル続きで予選敗退という結末でした。大会の予選通過ラインはAブロックで2尾、Bブロックで1尾でした。ブロック地区大会進出のラインは2尾という、噂にたがわぬ低調な釣果でした。

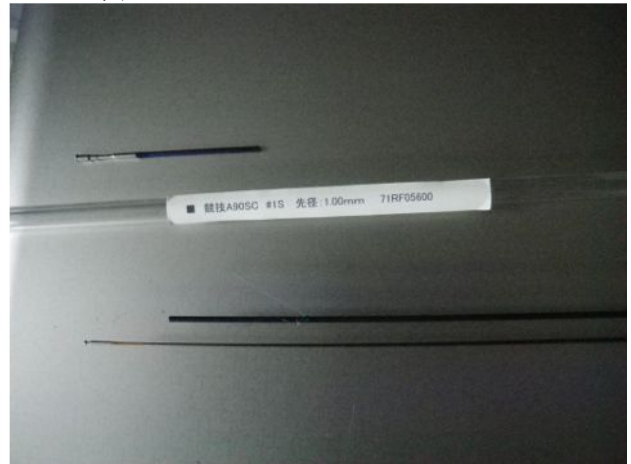


## 6月10日(水) 折れた穂先をどうするか

昨日折れた穂先をどうしたものかと選択肢を色々考えてみました。

- 1) 保守パーツを購入する
- 2) 新しい別の竿を買う
- 3) 自分で修理する
  - ・アルミやステンレスなどを芯にして、接着剤で止める
  - ・折れた穂先の周囲にカーボンファイバーを巻いて樹脂で固める
- 4) 別の竿の穂先を流用する

結局、ダイワの A90SC (Air Master)用のオートマ穂先が手元にあったので、当面、このオートマ穂先を使ってみることにします。これが一番簡単でお金が掛からないので・・・



## 6月11日(木) 雨の日に洗車



午後から雨が降り始めたので、久しぶりに洗車をしました。今年の春は黄砂やPM2.5が凄かったので泥まみれになっていました。

私は雨の日に洗車するのが好きです。晴れた日だと屋根の上などが火傷するほど熱くなりますが、雨の日だとそういう心配はありません。晴れの日だと洗った端から乾いてしまうので仕上げ拭き



が欠かせませんが、雨の日だとそれも不要です。

朝7時頃から、雨が降る前に草刈りをしました。9時頃には雨が降り始める予報だったのですが、降り始めたのはお昼を過ぎた頃からでした。なので、草刈の後でシャインマスカットの誘引・摘心作業をした上に、猿対策のおじろ用心棒の支柱を76本立てる作業もできました。

午後になって漸く雨が降り始めたので、コンテナハウスに設置するために購入したサッシュの枠をサンダーで切断加工しました。その後で、キャンピングカーの洗車をしました。

## 6月12日(金) シャインマスカットのホルモン処理1回目

今年初めて実を着けてみて分かったのですが、シャインマスカットの方がピオーネに比べて開花時期が5日程遅いようです。いずれの品種も初回のホルモン処理は満開時からということなので、シャインマスカットは今日、初回のホルモン処理を行いました。

シャインマスカット用の薬液はジベレリン25ppmとフルメット5ppmを混合したものです。一方、ピオーネ用の薬液はジベレリン25ppmとフルメット10ppmを混合したものです。剤の比率が若干異なるだけなので、余っているピオーネ用の薬液からシャインマスカット用の薬液を作ることになりました。ピオーネ用の薬液を2倍に希釈してフルメットの濃度を5ppmにした後に、ジベレリンを12.5ppm追加します。例えば500mlのシャインマスカット用薬液を作るには、250mlのピオーネ用薬液に250mlの水と1/8袋(6.25mg)のジベレリン粉末を加えます。今日は、満開を迎えた約4割のシャインマスカットの房だけにホルモン処理をしました。

シャインマスカットのホルモン処理の後で、ピオーネの未処理の房にホルモン処理を行いました。ほぼ全ての房が満開になっていましたので、ピオーネのホルモン処理は本日で完了しました。

先にホルモン処理をしたピオーネの房は大きくなっていて、現在小豆粒くらいの大きさです。写真右がピオーネ、写真左がシャインマスカットです。



午後から草刈をしたり、ブドウの枝を誘引したり副梢の摘心をしました。今日も天気が良くて作業が捗りました。



## 6月13日(土) ブイブイ退治

今朝もブドウ園で2時間程摘芯作業をしました。主に枝の副梢を1葉残してカットします。この作業の時に、ついでにブイブイを退治しました。

ブイブイは体長1cm程の甲虫類で、カナブンを小さくしたような虫です。ブドウの葉や芽を食害します。放置すると葉がレース(網)になってしまいます。こいつらは仲間のいるところに集まる習性があるようです。多分交接相手を探しているのでしょう。なにしろ食べるか交接するかしか能がないようですから。

ブイブイを殺すような農薬は散布していないので、見つけ次第、手で捕って潰したり、鉢で殺傷するようにしています。

午後から誘引作業をしました。今日で誘引作業はほぼ終了です。その後時間があつたので、電柵を完成させるべくステンレス線を張りました。後1日の作業で完成する見込みです。



## 6月14日(日) 勝山(旭川中央)解禁日

勝山の解禁に行きました。サラリーマンに優しく日曜日の午前6時が解禁です。早起きして出かけ、5時半頃には文化センターの駐車場に到着しました。早速着替えをしてオトリ屋さんへ急ぎましたが、オトリが品切れで配達中とのこと。待つこと約30分。やっとオトリを曳船に押し込んで川に向かいましたが、主要なポイントは既に先客があり、本流の右岸、新庄川との合流点で竿を出しました。待つこと1時間、本流側でも新庄川側でもあまり釣れていないようです。

川の様子を見に来た人の話によると「先日の試し釣りで本流はゼロだった」とのことなので、見切りをつけて、合流点から50m位川上の新庄川左岸に移動しました。ここはトロ場で泥を被っているのですが、群れ鮎が見えました。暫くして、やっと最初の1尾目が掛かりました。12cm程度のチビ鮎です。川上に何人もの釣り人が竿を出していますが、あまり曲がる様子がありません。ここで9時頃まで粘りましたが、ちっとも掛かりません。川上の釣り人の何人かは竿を畳んで帰ってしまう有様です。

私も辛抱しきれず、帰ろうかと思って本流側に歩いて行くと、沢山居た釣り人は皆竿を岸边に置いて、焼肉パーティーをやり始めたようです。対岸に人が居ないので、合流点から50m位上流の本流右岸から竿を出してみました。ここで、ガツンとあたりがあつたので、ひよっとしたら似鯉かなと思って慎重に寄せると、大きめの鮎でした。やうい〜！

このポイントで11時頃まで粘って6尾位掛けました。その内に、焼肉パーティーをやっていた方々も、釣れるのを見られたようで、セットポジションに戻ってこられました。合流点の瀬を対岸に渡って鉄橋の上に竿を出してみましたが反応はありませんでした。

車に戻って少し早めに昼ご飯にして、12時半頃に再び川に戻りました。釣れ方が芳しくないせいか、帰ってしまった釣り人も多いようでした。文化センターの橋の上流が空いていたので、川の中央に立ち右岸側に竿を出しました。ここは私の好きなポイントの一つなので、腰を落ち着けて釣る事にしました。ポツポツと釣れたので、他の場所にも移動することもなく、4時過ぎまで釣りました。

解禁日としてはあまりパツとしない感がありますが、結局18尾の釣果でした。



## 6月15日(月) 6月2回目の防除

二三日前の週間天気予報では雨が降るとされていましたが、今日も晴れマークです。これは良い拾い物とばかりに防除作業をしました。ペンコセブ水和剤1000倍とサムコルフロワブル5000倍の薬液を150リットル作って動力噴霧器で散布しました。

今日は動力噴霧器もトラブル無しで完璧な仕事をしてくれました。薬液の量も少し余るぐらいで丁度良い加減でした。



午前9時には防除作業が終わったので、帰宅して動噴などの清掃をしてから一休みした後で10時頃から副梢の摘心とブイブイ退治をしました。今日はPETボトルを切ってコップ状にして殺虫剤(スミチオン100倍)を入れた壺を用意して、ブイブイ退治の効率化と省力化を図りました。ブイブイ



はVV(=Vが二つなのでニブイ)＝鈍いかと思いきや結構すばしっこいのです。手を近づけると危険を察知して、ブドウの葉を転げ落ちたり、途中で羽を広げて飛び立ったりします。この毒壺をもってしても、取り逃がすことも度々あり、ゲームのようでもあり、面白いバグハンティングなのです。12時過ぎまで、副梢摘心とブイブイ退治に熱中しました。

長い昼休みの後、2時間程誘引作業をやって今日の作業は終了にしました。

## 6月16日(火) 雷シーズンを前にして

先日勝山に鮎釣りに行った時に以前の悪夢を思い出しました。2004年の7月頃、勝山で鮎釣りをしていて雷雨に遭遇して家に帰ってみると、家電製品の幾つかと無線機やアンテナなどの無線設備に大半を雷にやられてしまったのでした。

未だ梅雨に入ったばかりで梅雨前線が南にあるため冷涼な気候が続いていますが、そのうちに梅雨前線が真上に居座るようになるとムシムシジメジメして、猛烈な雷雨が降ったりします。雷シーズンになる前にアンテナを降ろしたいと思って、今朝から行動しました。

まずは主砲の14/21/28MHz用11エレ八木を降ろすために、このタワーから張っている3.5MHz用のバズーカアンテナや1.8MHz用逆Vアンテナなどを退避しました。11エレ八木は半分の高さ(約12m)にまで降ろしましたので、これでひとまず安心です。

引き続き、40mタワーの24MHz用5エレと7MHz用2エレを降ろそうと準備していたら、雨がパラパラと降り始めたので、暫く様子を見ていましたが1時間以上降り続いたのでタワーが濡れて滑りやすくなり、危険なため断念しました。

午後から雨が上がったので、ホームセンターに買い物に行った後、ブドウ園に行って誘引作業を1時間程しました。3時頃からアンテナ作業をしようかと迷いましたが、雲行きが怪しいので電柵のステンレス線を張る作業をしました。午後6時頃までかかりましたが、電柵を張る作業は完了しました。後は高圧パルス発生器を設置するのみです。



## 6月17日(水) アンテナ降ろし第2弾

今日は午前9時から11時半頃までブドウの管理講習会があったので参加しました。管理講習会の前後に、40mタワーに載せていた24MHz用5エレ八木と7MHz用2エレ八木を降ろしました。

先ず、最初にアンテナの途中(地上高約25m)に上げていた24MHz用八木を降ろして、バラバラに解体しました。こうしないと上に載っている7MHz用八木を降ろすのに邪魔になるのです。

午後からもほぼ無風だったので、作業を継続して7MHz用八木を降ろしてしまいました。夏場は殆どDXハンティングはしないので、これですっきりしました。9月末から10月頃にかけて台風の心配が無くなったら、また上げます。



## 6月18日(木) 近所のとあるご老人の葬儀

今日は朝8時20分から近所のとあるご老人の葬儀があり、午後5時過ぎまで拘束されていました。なので、農作業はお休みでした。今日は雨模様でしたので、骨休みができて良かったとも言えます。

帰って、お風呂上りに体重計に乗ると、体重が3kgも増えていました。暴飲・暴食したようです。

## 6月19日(金) ホテルグランビアでランチバイキング

ホテルグランビアのランチバイキングペアチケットが手元にあったので、家内と一緒に食事に出かけました。今日は雨で鬱陶しい天気でしたが、最上階のラウンジから市街地を一望しなから食事をするには暑過ぎず良かったようです。





岡山には10時過ぎに家を出発しましたが、その前にブドウ園で一仕事して、また2時頃帰宅したからブドウ園で農作業をしました。今日の作業は、果軸調整です。即ち、ブドウの房の長さを決める作業なのです、この作業をマニュアル通りにするために、6月14日の山陽新聞で紹介されていた「果軸調整棒」を自作しました。新聞には、岡山県美作広域農業普及センターが津山地域のブドウ農家に「果軸調整棒」を無償提供していると書かれていましたが、自分でも簡単に作れそうだったので、箸にボールペンで印を着けて出来上がりです。早速「果軸調整棒」を使って房の長さを調整したり、摘粒作業を行いました。

## 6月20日(土) しろみて

今日は「しろみて」ということで、近所の方々とパーティーをしました。「しろみて」は聞き慣れない言葉かもしれませんが、田植えが終わったことを祝って集落で催す宴のことを意味するようです。「しろみて」は正午からだったので、午前中はブドウ園で「捻枝作業」をしました。



## 6月21日(日) 電気柵設置完了

昨夜の雷雨が嘘のように朝から晴れ上がって良い天気になりました。高圧パルス発生器を現場に設置して試運転してみました。

高圧パルス発生器は末松電子製作所のゲッターエース3です。アルカリ乾電池(12V=単一 x8個)でも40日は通電可能とのことなので、当面はアルカリ乾電池で運転して、その内にソーラーパネルと鉛蓄電池にバージョンアップしようと思っています。

高圧パルス発生器を裸で現場に設置するのも可愛そうだったので、プラスチックの箱に入れました。昨年鮎釣り道具入れとして使っていたアイリスオーヤマのバックルBOX(NSK-700)を流用しました。光センサーで明るさを感知する機能があるので、箱の中に入れて蓋をしてしまう訳にはいけないので、箱を横にして、蓋は底として使うために、セルフタッピングビスで本体に縫いつけました。

午後からFIMASAOでブドウ園と太陽光発電所の草刈、夕方、ブドウの捻枝をしました。



## 6月22日(月) アンテナタワー引取り

5月末頃にヤフオクで落札したアンテナタワーを引き取りに、愛知県半田市まで出かけます。岡山空港近くのレンタカー屋さんでトラックを借りて行きます。高速道を通って約350kmの道程です。現地には午後3時前後に到着予定です。帰りは、高速道路の深夜割引の恩恵を受けるために、深夜または明日の早朝に帰着の予定です。





## 6月23日(火) 草刈に明け暮れる日々

今朝、トラックの荷物を降ろして、レンタカー屋さんに返しに行って帰宅すると9時前でした。

ブドウ園に行って、シャインマスカットのホルモン処理(2回目)をした後で、またまた草刈をしました。記録を辿ってみると、約1ヶ月前に草刈をしています、やはり1ヶ月も経つと草丈が伸びて、再び草刈が必要になるみたいです。家の廻りや太陽光発電所、ブドウ園と隣地、フェンス(ワイヤーメッシュ)、アンテナファームなどを順繰りに草刈していたら、少なくとも2週間は必要なので、1週間程草刈を休んだら、また毎日草刈をしているような感じです。夏至も過ぎたので、草がグングン生長するのは後1ヶ月位です。



## 6月24日(水) 勝山で鮎釣り

明日は天気が下り坂らしいので、朝一番に草刈を1時間半程やってから鮎釣りに出かけました。家を出た時には既に9時を回っていたので、一番近い釣り場である勝山に出かけました。

落合から月田に抜けて新庄川を見ると濁っていました。勝山に着いて、旭川を見ると澄んでいたので安心しました。着替えを済ませて文化センター脇の橋の上から川を覗き込みましたが鮎は見えませんでした、似鯉は3尾もいました。右岸側の国道沿いを歩いて北上して中橋からもう一度川を覗き込みましたが、ここでもあゆの姿は見えませんでした。オトリ屋さんで話を聞くと本流ではあまり釣れないとのことでしたが、新庄川は濁っているので本流で竿を出しました。時刻は既に11時を回っていました。

今日は釣り客の数は少なく、好きな場所に入れる状態です。迷わず、解禁日に釣れたポイントに入りました。待つこと約30分、最初の一尾目が掛かりましたが、痛恨のミスキャッチでポロリとやっちゃいました。それから沈黙の時間が長く続き、一尾目をゲットできたのは12時を過ぎた頃でした。

スローペースでしたが、ポツリポツリとオトリをつなぐ程度に掛かったので、昼飯を食わずに4時過ぎまで同じような場所でやっていたのですが、飽きてきたので場所を変えて、解禁日に釣れたもう一つの場所に移動しました。掛かれば儲けもの、掛からなければ帰ろうと思って竿を出して暫く待つと良いあたりがありました。最初は左岸から竿を出していましたが、前回は右岸からだったので、右岸側に渡って解禁日の時と同じような立ち位置から竿を出すと立て続けに4尾位掛かって拾いものをしました。

今日の釣果は14尾程でした。鮎を生かしたまま持ち帰って、家の水槽で飼ってみることにしまし

た。次回、勝山に行く時にオトリ代を浮かせようという試みです。水槽に井戸水を入れながら鮎を放したところ、横向きになった鮎や水面に口を出す鮎がいます。酸欠なのかと思って金魚用のエアープンプをセットしたところ、少しは落ち着いたようです。明日の朝まで何尾が生き残っているでしょうか??



(6月25日18時での生存率は100%で、皆元気に泳いでいました。水槽は樹脂製の200立ドラム缶を約半分に切ったものです。鮎が飛び跳ねて外に出ないように網を被せています。)

## 6月25日(木) ゴーグルの曇り止め

6月3回目の防除作業を実施しました。オンリーワンF 2000倍+レーバスF 3000倍+コテツF 2000倍の薬液を200リットル作成して散布しました。防除作業をする時には、目に農薬が入らないようにスキー用のゴーグルをいつも着用していますが、途中で曇って視界不良になって困っていました。

先日岡山市内に出かけた時に、スポーツ用品店で競泳のゴーグル用の曇り止めを買ってきました。曇り止めの液剤をゴーグルに数滴垂らして、全体に塗り延ばしてティッシュペーパーで拭き取りました。製品の本来の用途や用法とは少し異なりますが、2時間程の農薬散布中にゴーグルの曇りが解消されて、快適に作業できました。只でさえ鬱陶しい作業なので、快適にできるとうことが何より嬉しい事です。

我が家のブドウ(ピオーネ)もすくすく成長しているようで、ブドウらしくなってきました。





## 6月26日(金) 雨の日の露天風呂も乙なもの

今日は用事があって11時頃岡山空港に行きました。雨の日でもあり、農作業を強行するのも嫌だったので、行ったついでに温泉「レスパール藤ヶ鳴」に行きました。ここにはサウナも露天風呂もあり、ゆっくり湯に浸かって食事をしました。

本日6月26日(6.26)は「ろてんぶろ」の日らしいのですが、雨の日に露天風呂というのも乙なものでした。



## 6月27日(土) スーパーカブのキャブレター分解掃除

ブドウ園で摘粒作業をしています。この作業に必要な道具は剪定鋏だけなので、わざわざ軽トラックで行かなくても、スーパーカブで十分間に合います。ところが、近頃滅多にスーパーカブに乗ることがなくなったので、エンジンの調子が今一つです。エンジンの調子が悪いので益々乗らなくなるという悪循環が続いています。

この悪循環断ち切るために、キャブレターを分解掃除してみました。動力噴霧器用エンジンを分解掃除して調子がよくなって以来、変な自信がついてしまい、まるで機械いじりが好きな少年のようです。

分解掃除に結果、鼻屑目に見ると少し調子がよくなったように思いますが、あまり変わらないという説もあるようです。



オトリ用の鮎を飼っている水槽を少しバージョンアップしました。水を替えるのが面倒なので、代わりに井戸水というか湧き水を水槽にかけ流しにして、常時水が入れ替わるようにしました。水槽から水が溢れ出るような水位だと、水槽の強度が心配ですし、鮎が逃げってしまう心配もあり、40cm位の水位が一定になるようにサイフォンで排水するようにしました。

## 6月28日(日) ブドウの粒間引きをして思うこと

ブドウ園の粒間引作業が一通り完了しました。黙々と一人で作業して思ったことを記録に留めておきます。

### 1)良かったこと

V字整枝にしているので、ブドウの房が目線の高さになっていて、楽々作業ができた。

### 2)悪かったこと

開花時期にバラツキがあったため、房や粒の成長具合がまちまちのため、同じ作業を一斉にすることが困難。

### 3)改善を要す点

大きな粒の房を粒間引きするよりも、粒が小さい房を粒間引きするほうが作業は簡単なので、粒が小さいうちに粒間引きしたほうが作業効率がよい。花穂整形、誘引、軸長調整などの作業の後に粒がなるべく小さい内に粒間引きしたいものだ。

8~9車で35粒という目標では1車あたり4粒程度ですが、実際には1車あたり6粒も7粒も着いた房が珍しくありません。粒が小さい内に、1)上を向いた粒、下を向いた粒、真横を向いた粒、および変形した粒を優先的に摘粒します。



## 6月29日(月) 初めて久世で鮎釣りしました

朝8時過ぎまで太陽光発電所と周辺の草刈してから鮎釣りに出かけました。

先週の水曜日から飼育しているオトリを持って勝山(新庄川)に行きました。水はクリアで平水でしたが、なかなか鮎の姿が見えないので、色んな場所を見て廻った末に、警察署裏の上流の橋のあたりから入りました。



最初のあたりは目印がぶっ飛んだので何かと思ったら、やはり似鯉でした。竿を折ってもつまらないので、付いて下りましたが、結局仕掛けとオトリは没になりました。暫くして最初の一尾目が掛かり、いつものスローペースでやっとオトリをつなぐ程度の釣れ方でした。昼飯も食わずに、旭川との合流点まで釣り下って、7~8尾の釣果でした。

引き舟を文化センター脇の国道の橋の下に置いて、歩いて車を取りに行きました。旭川本流には見渡すかぎり釣り人の見えませんでした。今年は勝山よりも久世の方が良く掛かるという話を耳にしたことがあるので、一度行ってみることにしました。

時は既に4時近くでしたが、車で移動し、カーナビを注意深く見ながら運転して久世の河川敷に辿り着きました。此処には数名の釣り人が居て賑やかでした。監視員の腕章を付けた方がどのあたりで釣れるのか親切に教えて下さったので大変参考になりました。

久世の釣り場は岩盤底だと入川してみても初めて知りました。滑って転ばないように気をつけなければなりません。5時半頃やって、初めての久世で3尾の釣果でした。噂通り勝山よりも久世の方が魚影は濃いです。また近い内に来たいと思います。今日も釣った鮎を絞めずに生きたまま持ち帰りました。



## 6月30日(火) コンテナハウスの改良

コンテナハウスを新アンテナファームに設置しています。三協フロンティアの Panda3.0 という扉がシャッターのタイプです。防犯的観点では優れているのですが、中に入って僅かな時間を過ごすと、締め切っていると暗いし、開けっ放しだと冬はさぞかし寒いだろうことは容易に想像できます。シャッターの内側に引戸のサッシを取付けることは当初から考えていたことで、既にサッシ(YKK製3TH 1618)はネットショップで購入済みです。

サッシの高さは1800mmでシッターボックスの下端から5mm程度の隙ができるギリギリの寸法ですが、サッシの額縁部分が邪魔になったので、8mm程ディスクグラインダーで切り取りました。サッシの幅は1694mmで、コンテナハウスの内法は1910mmなので両脇のスペースは各108mmです。サッシの両脇には方立が要ります。コンテナハウスの高さ(内法)は2200mmと中途半端に高いので、6ftの2x4材では少し寸法が足りません。そこで、2x4材を集成材のように継ぎ足して、ボンドとコーススレッド(木ネジ)で固定して自作しました。2x4材は38x89mm、1x4材は19x89mmなので、2x4材2本と1x4材1本で、厚さがぴったり108mm(=89+19)になることに気付いたのでした。

今日は、自作した方立を使ってサッシを取付ける工事をしました。妙に寸法がぴったりだったの

が災いして、うまく入りませんでした。コンテナハウスも材木も絵に描いたように直線や直角で構成されているわけではないので、或る程度の間隔が必要なのです。仕方なく、カンナを取りに帰って軽トラックの荷台でカンナがけをしました。カンナがけをするのは無線小屋を自作して以来約30年ぶりです。ムシムシする曇り空の下でのカンナがけ作業で汗びっしょりになってしまいました。

思わぬ計算違いがありましたが、なんとか思い通りに、コンテナハウスにサッシ(引戸)を取付けることができました。



今日は朝一番に家の廻りの畑の草刈をして、イチジクの支柱を立てました。イチジクの葉は団扇ほどの大きさで細い新梢だと、へなへなと倒れてしまうのでサポートしてあげなければなりません。

午後からコンテナハウスにサッシを取り付けに行きました。午後3時頃、作業が完了し頃に丁度雨が降り始めました。帰宅してお茶をしてからブドウ園に行って、延伸中の枝を棚付けしました。